

健康福祉サービス第三者評価結果 公表 共通様式

1 事業者情報

福祉サービスの種別	保育
事業所名	湖南省立平松こども園（幼保連携型認定こども園）
代表者氏名（管理者）	園長 米丸 裕美子
法人名	湖南省
定員（利用人数）	185名
施設・事業所所在地	滋賀県湖南省平松268
T E L	0478-76-3648 0748-72-0390
F A X	0748-72-0390
電子メール	hira-ns@city.shiga-konan.lg.jp
ホームページアドレス	https://www.city.shiga-konan.lg.jp/soshiki/kodomomirai/yoji_shisetsu/28136.html （湖南省保育施設検索ページ）

2 第三者評価機関

第三者評価機関名	一般社団法人 滋賀県介護福祉士会
評価実施期間	令和6年11月19日 令和6年11月26日

3 評価の概要

○ 総合評価

幼保連携型認定こども園『湖南省立平松こども園』は、発展を続ける湖南省の子育て世代をサポートする上で重要な社会資源となっています。こども園の近くには 新興住宅街も開発され、これからも人口増加が見込まれています。地域性としては工業団地も多く共働き世帯が多い地域です。そのような環境にあるため、平松こども園は 地域の中でも一番規模の大きいこども園です。

少子高齢化の近年には珍しく3歳以上のクラスは2クラスずつあります。園舎は大きな二階建てになっており、1階に0歳～2歳、2階に3歳以上の子どもたちが生活しています。上下に生活空間が分かれているので、大きい子どもたちと小さい子どもたちがぶつかってケガをしたりする危険が少ない造りになっています。

園の保育理念に、「子ども一人ひとりを大切にし、保護者から信頼され地域に愛される園を目指す」を掲げており、保護者が安心して働くことができる支援体制が整っています。また、保育方針に、「子どもたちの今を大切にし、健やかにたくましく生きる力を育てる」と定め、保育教諭や調理師を含むチームが園一丸となって子どもの育みをサポートしています。子どもたちも異年齢での交流を日常的に経験し、年上が年下の世話をしたり、手をつないで歩く姿が見られ、少子化の世相にも負けない、温かな雰囲気を感じることが出来るこども園です。子どもたちは自然豊かな環境と、保育教諭等の日々の努力によって、すくすくと育っている様子が見て取れました。

○ 特に評価の高い点

1. 他の保育園・こども園にはない取り組みのひとつとして、保護者は外国語による案内やお知らせを受け取る事ができます。地域には工業地帯があり、外国籍の人達も多く働いています。従って、外国にルーツを持つ子どもたちが多く在籍している関係で、保護者が現地の言葉で案内や情報を受け取ることが出来るよう、通訳したり園からの文書類を翻訳しています。結果として、国籍に関係なく子どもを安心して地域のこども園へ通わせることが可能になっています。

2. 公立のこども園として充実した職員体制を整えている事も評価できる点です。フリーの保育教諭が1名、副園長2名が配置されており、充実した保育体制が取れている事が確認できました。また、他の園との「公開保育」や「交換保育」を行い、保育教諭のスキルアップに繋がっています。年3回の人事考課の機会や、職員との個人面談・能力評価シート等を活用するなど、様々な機会を通じて、職員の人材育成に努めています。

3. 地域への保育園機能の還元という点では、年度初めの「家庭訪問」や人権推進委員会や地域サロンの開催、民生委員・児童委員との連携、独居高齢者へ子どもたちが手紙を届ける活動、勤労感謝の日子どもたちによるカレンダーの作成など、地域への様々なアプローチを行っています。更に、子どものプライバシー保護や権利擁護に対して十分に配慮しています。「CAP研修」や「プライバシー保護に関するマニュアル」、「不適切保育防止マニュアル」、「人権教育・人権保育全体計画」の策定など、子どもの権利に配慮した保育が実践されています。

○ 改善を求められる点

ア. 平松こども園として一定のマニュアル類は揃っていますが、整備されていないものや、「あるはずだが保管場所が分からず」確認が取れないマニュアルが一部ありました。今後は不備なマニュアルを策定することと、そのマニュアル類が必要な時に直ぐに出せるように、定位置の保管場所を決めて、職員へ周知しておくことが必要です。

イ. 外国にルーツがある子どもたちが多い関係で、案内やお知らせを母国語で受け取ることができることは、他のこども園にはない良い取り組みです。それらの努力を活かし「園の要覧」等も翻訳した母国語で読むことが出来れば、より情報格差のない権利擁護を大切にすることも園として認められると考えます。

ウ. 安全面の観点から、0歳児の部屋の前の倉庫のようにになっている場所が、用具が多く死角も大きいことから、その部屋を整理して他の部屋と同様に扉を閉めて、鍵をかけるなど安全策の強化を期待します。

エ. 非常時の災害対策計画書とBCP（事業継続計画）が整備されており評価できます。しかし、ハザードマップなど災害時に園がどのような被害・災害の危険があるのかを示した掲示物が確認できませんでした。今後は、平松こども園にどのような災害が想定されているのかを確認し、ハザードマップを張り出し、職員、保護者らが共有できる状態が望まれます。なお、災害は想定を超えてくるのが日常化していますので、危険な場所でないとしても、いざという時に子どもの命を守るように対策することが必要です。また、有事に保護者が帰って来れないことも想定し、こども園で保護する時間が長くなった時にどうするのか、また長期化するような災害が起こった場合に備え、ミルクや紙おむつを備蓄し、地域に支給できるような仕組みが出来れば、地域の中でのこども園の意義や存在感が向上すると考えられます。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価を受け、一つ一つ確認しながら評価や改善する点を伝えていただき、園運営や環境の整備、保育内容、保護者対応、災害対策等、改めて考えたり見直したりする機会となりました。改善点としてあげていただいた点につきまして、子どもたちが安全に過ごせるように環境と整え安全策を強化に努めてまいります。

また、災害対策に関しては、さまざまな災害を想定し対策を講じて災害に備え、災害力を高めてまいります。